

「小児外科」第 57 卷（第 1～12 号）総目次

（2025 年 1 月～2025 年 12 月）

（ ）内は号数

【特 集】

■極・超低出生体重児の治療戦略

外科疾患時の保育器の選択	平林 健
小林 完・齋藤 傑・袴田健一	5(1)
モニター類装着による皮膚トラブルの実態	米澤かおり
	10(1)
血管確保と長期留置の工夫	岡田侑樹
産本陽平・宮園弥生・増本幸二	13(1)
静脈栄養の工夫	瓜田泰久・増本幸二
	19(1)
超低出生体重児のストーマ周辺の管理とケアー超低出生体重児のストーマケアー	鎌田直子
	24(1)
消化管ストーマ造設術の工夫	望月響子・近藤享史・臼井秀仁
	31(1)
北河徳彦・新開真人	31(1)
気管切開	古田繁行・工藤公介
川口拓哉・田中邦英・大林樹真	35(1)
ドレナージ	一瀬諒紀・石丸哲也
	39(1)
極・超低出生体重児の周術期管理	濱田寛子・平木照之
	43(1)
極・超低出生体重児の先天性気管狭窄症に対する治療戦略	佐々木 航・森田圭一・畠山 理
	47(1)
横隔膜ヘルニア	下高原昭廣・富田紘史
	50(1)
先天性食道閉鎖症を合併した超低出生体重児に対する治療戦略	堀池正樹・横井暁子
	55(1)
十二指腸閉鎖症	出家亨一・井口雅史・川嶋 寛
	59(1)
壊死性腸炎・限局性消化管穿孔の術式	三宅 啓・矢本真也・野村明芳
	菅井 佑・合田陽祐・山城優太郎
	福本弘二
	64(1)
小腸閉鎖症における閉鎖部位と臨床像の検討ー特に極・超低出生体重児症例の特徴についてー	春松敏夫・大塚博樹
	栗本朋典・徳久琢也・鳥飼源史
	68(1)
胎便性腹膜炎	畠山 理
	73(1)

閉塞性黄疸	吉丸耕一朗
松浦俊治・内田康幸・前田翔平	
近藤琢也・高橋良彰・福田篤久	
川久保尚徳・永田公二・田尻達郎	76(1)
超低出生体重児の総排泄腔外反症	森 昌玄・梅山知成・小松崎尚子
	海野 彩・大泉亮太郎・堀江貴哉
	出縄康次・浅見愛乃・鄭 英里
	平川 均・渡辺稔彦
	83(1)
超低出生体重児の直腸肛門奇形	富山英紀・濱元宏喜・田中 亮
	今井義朗・米田浩二・朝隈光弘
	李 相雄
	88(1)
極低出生体重児の仙尾部奇形腫	渡邊佳子・浮山越史
	91(1)
鼠径ヘルニア（嵌頓を繰り返す）	末吉 亮・世川 修・山田 進
	山口隆介
	94(1)
未熟児動脈管開存症の手術治療	松永慶廉
	97(1)
■臓器損傷治療の工夫	
【総論】	
小児腹部実質臓器損傷の臨床的特徴	長野綾香・杉田光士郎・川野孝文
	春松敏夫・田畑有弥子・祁答院千寛
	鶴野雄大・村上雅一・矢野圭輔
	大西 峻・家入里志
	109(2)
単施設における小児腹部外傷に対する治療成績の後方視的検討	松寺翔太郎・鈴木 完・渡邊 峻
	荻野 恵・畑中政博
	113(2)

【周産期】

新生児脾破裂	木村浩基・山内勝治・古形修平
	岸田匠平・佐々木隆士・米倉竹夫
	117(2)

【呼吸器】

気管損傷を伴う気管切開チューブの逸脱・迷入による気胸、縦隔気腫、腹腔内気腫	安部孝俊・林 健太郎・野村皓三
	酒井清祥
	122(2)

重度の外傷性気管支断裂に対して ECMO
管理下に気管支形成を施行し救命しえた
1 例……………筒野 喬・津坂翔一・小川祥子
近藤靖浩・納屋 樹・竹添豊志子
出家亨一・水田耕一・川嶋 寛……………126(2)

【消化管】

食道裂孔ヘルニアに起因した胃穿孔術後の
多発腹腔内膿瘍を伴う創感染・腹壁離開
に対し、AbThera™ドレッシングキット
を用いた腹部開放管理が有効であった
1 例……………笈田 諭
東間未来・益子貴行・清水 徹
渡邊揚介・清水咲花・矢内俊裕……………133(2)

胃破裂ならびに胃穿孔の臨床経過と治療
……………海老原統基・吉田真理子・八尋光晴
森田香織・柿原 知・高澤慎也
藤代 準……………139(2)

外傷性空腸穿孔に対する腹腔鏡手術
……………久山寿子・曹 英樹・吉田篤史……………145(2)

鈍的腹部外傷後の遅発性小腸狭窄
……………三好きな・林田 真……………148(2)

受傷から腹痛を認めるまでに時間を要した
回腸穿孔の 1 例
……………畑中政博・神田 恒・菊地健太
長谷川真理子・五十嵐昭宏・重田孝信
岡崎英人・土岡 丘・鈴木 完……………153(2)

磁石誤飲による横行結腸穿孔
……………加藤大幾・小野靖之……………156(2)

【肝胆膵臓】

肝損傷……………形見祐人・下野隆一……………160(2)

先天性胆道拡張症における胆嚢管の高位合
流と炎症性の変化が原因で起こった肝門
部胆管損傷例……………小林 隆・木下義晶……………165(2)

小児外傷性膵損傷……………佐々木隆士……………170(2)

主膵管断裂を伴う小児Ⅲb 型外傷性膵損傷
に対する ERP を含む非手術療法
……………浅井 武・新居 章・浅井芳江
愛甲崇人……………175(2)

外傷性膵損傷(Ⅲb)が疑われた急性膵炎
を初発とした膵・胆管合流異常/先天性
胆道拡張症の一幼児例
……………嶋村 藍・井口雅史・高山勝平
金 聖和・文野誠久・小野 滋……………179(2)

外傷性膵損傷Ⅲb 型に対する内視鏡治療
……………土屋智寛・井上幹大……………185(2)

外傷性巨大脾嚢胞に対する腹腔鏡下天蓋切
除術……………奥村健児・奥村祐生・川端誠一……………192(2)

成人と比較した小児重症脾損傷に対する
non-operative management
……………熊谷知子・狩野元宏・佐藤壮泰
近藤 彩・杉山祥基・城崎浩司
工藤裕実・加藤源俊・山田洋平
藤野明浩……………195(2)

【副腎・腎臓】

血管損傷を伴った外傷性副腎損傷の 1 例
……………山形健基・渡部 亮・森井真也子
東 紗弥・林 海斗・水野 大……………201(2)

腎損傷……………亀井一輝
山内 健・中林和庸・田口匠平……………205(2)

【泌尿器】

長期的な腔内異物留置に伴う複雑性小児膀
胱尿管腔瘻の 1 例
……………田中里奈・中村弘樹・土井 崇……………208(2)

小児における外傷性精巣破裂
……………松島 正・黒部 仁……………212(2)

医原性の包皮内板損傷により緊急手術を必
要とした閉塞性亀頭包皮炎(BXO)の
1 例……………亀井尚美・平原 慧・大津一弘……………216(2)

【外陰部・体表】

当科で経験した女児陰部外傷例の検討
……………今治玲助・渡邊日向子・住田桃子
谷 守通……………219(2)

尿道・膣損傷が疑われた女児陰部外傷
……………生野 猛・谷口直之・中村晶俊
橋本佳子・生野久美子……………223(2)

外傷性 Spiegel ヘルニアに対する腹腔鏡治療
……………盛島練人・及川佑希・佐藤智行……………227(2)

【手術手技】

腹部開放創陰圧治療法システムによる
open abdominal management……………榊屋隆太
中目和彦・宗像 駿・河野文彰
武野慎祐・七島篤志・家入里志……………231(2)

■ Hirschsprung 病

■第 121 回東京小児外科研究会より■

巻頭言 各施設における短域型 Hirschsprung
病の診療の実際……………尾花和子……………245(3)

【診断】

Hirschsprung 病疑い症例に対する初期検査
の手順と留意点……………横川英之
高見尚平・新井真理・尾花和子……………250(3)

Hirschsprung 病の診断における calretinin 免疫染色の有用性	二見 徹・益子貴行・青山統寛 木村翔大・藤本隆士・山岡 敏 東間未来・矢内俊裕・大谷明夫	255 (3)
---	--	---------

【術前管理】

Hirschsprung 病術前管理における経肛門 tube の有用性	文田貴志・中田光政 神坐恵理香・丹羽夏海・齋藤 武	259 (3)
Hirschsprung 病に対する経肛門的カテーテル留置による術前管理の検討	木村翔大 東間未来・藤本隆士・二見 徹 山岡 敏・益子貴行・矢内俊裕	264 (3)
単施設における left-right colon および sigmoid colon type の Hirschsprung 病術前腸管減圧管理	鎌田悠子・入江澄子 渡邊 峻・荻野 恵・畑中政博 土岡 丘・鈴木 完・小嶋一幸	269 (3)

【術式選択】

当院における経肛門的 Soave 法の手術成績：肛門機能に関わる因子の検討	近藤享史・田中聡志・盛島練人 白根和樹・臼井秀仁・望月響子 北河徳彦・新開真人	274 (3)
当院における Hirschsprung 病に対する腹腔鏡補助下 Soave-伝田法の実際	関 千寿花・鈴木啓介・田中裕次郎	281 (3)
当院における Hirschsprung 病に対する腹腔鏡補助下 Soave 法	海老原統基 吉田真理子・八尋光晴・森田香織 柿原 知・高澤慎也・藤代 準	288 (3)
全結腸型 Hirschsprung 病に対する腹腔鏡下 Duhamel-Z：最小限の剥離で最大限の排便機能を	伊東成宜・宮野 剛・池上満智彰 鈴木孝宜・二階公貴・岡崎任晴	293 (3)

【根治術中の留意点】

当院における年長児・学童児に対する術式の工夫	森 禎三郎・富田紘史・出口晴教 広原和樹・金森洋樹・松寺翔太郎 日高綾乃・月崎絢乃・藤井俊輔 高橋信博・下高原昭廣・松岡健太郎	298 (3)
------------------------	--	---------

【術後管理、その他】

当院における Hirschsprung 病診療の後方視的検討	出口晴教・近藤 彩・熊谷知子 城崎浩司・工藤裕実・狩野元宏 加藤源俊・山田洋平・藤野明浩	305 (3)
術後の排便管理に心理的介入が有効であった年長児 Hirschsprung 病の 1 例	木暮慶太・渡邊揚介・花田 学 平野隆幸・上原秀一郎	311 (3)
術後早期合併症に対して再手術を要した Hirschsprung 病の 2 例	川口雄之亮・武之内史子・小松秀吾 笈田 諭・勝俣善夫・西村雄宏 工藤 渉・丹羽夏海・菱木知郎	316 (3)
Hirschsprung 病と一酸化窒素 (NO) 作動性神経との関連についての病理組織学的検討	伊藤佳史・下島直樹・松岡健太郎	321 (3)
■最近の胃瘻の話題		
巻頭言	世川 修	341 (4)
胃瘻の原理・適応	平井みさ子	343 (4)
胃瘻関連の訴訟事例 (成人例含む)	岩井 完	347 (4)
胃瘻と医療安全	雪下岳彦・小林弘幸	356 (4)
胃瘻に関連する診療報酬	尾花和子	361 (4)
胃瘻と腹膜透析	三浦健一郎	365 (4)
胃瘻造設術後の胃食道逆流症	田中聡志・北河徳彦・白根和樹 盛島練人・近藤享史・臼井秀仁 望月響子・新開真人	368 (4)
逆流防止手術を伴った胃瘻造設後の胃の位置による胃排泄能	松久保 真 緒方将人・長野綾香・村上雅一 矢野圭輔・杉田光士郎・大西 峻 山田耕嗣・鳥飼源史・家入里志	373 (4)
胃瘻造設後の腹腔鏡下噴門形成術	田畑有弥子・鶴野雄大・祁答院千寛 村上雅一・矢野圭輔・大西 峻 川野孝文・家入里志	378 (4)
胃瘻造設術前検査とインフォームド・コンセント	坂本早季・升井大介・吉田寛樹 中原啓智・倉八朋宏・東館成希 古賀義法・橋詰直樹・加治 建	383 (4)
開腹胃瘻造設術	高見澤 滋	388 (4)

経皮内視鏡的胃瘻造設術（PEG）と胃瘻接 続コネクタの諸問題（国際規格 ISO 80369-3 と医薬発第 888 号） ……………臼井秀仁・北河徳彦・白根和樹 田中聡志・盛島練人・近藤享史 望月響子・新開真人……………393(4)	末梢挿入式中心静脈カテーテル（PICC）に よる QOL 向上……………伊藤佳史 岡本健太郎・荻野 恵・水野裕貴 鎌田悠子・岡本将太・印南優衣……………467(5)
腹腔鏡下胃瘻造設術 ……………矢内俊裕・東間未来・益子貴行……………401(4)	血管ルート確保困難症例に対する腰部から の中心静脈アクセスの QOL ……………前田悠太郎・山田洋平・熊谷知子 近藤 彩・伊藤よう子・城崎浩司 工藤裕実・加藤源俊・狩野元宏 中塚誠之・藤野明浩……………472(5)
腹腔鏡補助下経皮内視鏡的胃瘻造設術 ……………世川 修・山口隆介・山田 進 末吉 亮・山本陽子……………406(4)	重症心身障害児に対する喉頭気管分離術の QOL 向上に対する効果 ……………小坂太一郎・曾山明彦・江口 晋……………476(5)
腹腔鏡併用胃瘻造設術における術式による 治療成績の比較……………森 禎三郎 広原和樹・金森洋樹・松寺翔太郎 日高綾乃・藤井俊輔・月崎絢乃 高橋信博・下高原昭廣・富田紘史……………411(4)	胃瘻を有するデュシェンヌ型筋ジストロ フィー症例……………光明祐希・大片祐一 栗野宏之・坊 亮輔・尾藤祐子……………482(5)
変形の強い重症心身障がい児・者での胃瘻 造設……………森田香織・藤代 準……………419(4)	頭頸部リンパ管奇形に対する治療戦略；タ イミングとモダリティ ……………文野誠久・鈴木健斗・谷口彰宏 井口雅史・井上真帆・高山勝平 金 聖和・打谷円香・小野 滋……………487(5)
胃瘻造設時のダイレーターによる胃後壁穿 孔……………笠井智子・高見澤 滋・好沢 克 入江友章・岡野 寛・足立綾佳……………422(4)	先天性嚢胞性肺炎患術後長期の合併症 ……………東堂まりえ・出口幸一・渡邊美穂……………492(5)
胃瘻造設後の胃軸捻転 ……………福原雅弘・永田公二・近藤琢也 福田篤久・川久保尚徳・吉丸耕一朗 宮田潤子・松浦俊治・田尻達郎……………425(4)	当施設における先天性横隔膜ヘルニアの ECMO 使用の実態と転帰、および ECMO 使用生存例の長期予後 ……………梅田 聡・臼井規朗……………496(5)
胃瘻周囲からの漏れと初回造設法 ……………毛利純子・新美教弘・田中修一 横田一樹・大島一夫……………429(4)	中腸軸捻転症における腹部コンパートメン ト症候群と術後 QOL……………山内勝治……………500(5)
胃瘻造設後の皮膚障害（WOC ナースの役 割）……………二ツ橋未来……………435(4)	腸回転異常症の再手術に関わる因子 ……………山口岳史・小西健一郎・篠原正樹 小嶋重光・西 明……………506(5)
胃瘻管理のタスクシフト……………吉元あゆみ……………439(4)	短腸症候群、腸管運動機能障害における腎 機能障害……………工藤博典・和田 基……………510(5)
在宅医療における胃瘻管理……………大谷俊樹……………443(4)	成長期を迎えた短腸症候群児に対する GLP-2 アナログ投与の意義……………三宅 啓 矢本真也・野村明芳・菅井 佑 合田陽祐・山城優太郎・福本弘二……………514(5)
経胃瘻的空腸栄養チューブ……………渡井 有 佐藤英章・中山智理・田山 愛 大澤俊亮・富永美璃・木村翔大 矢下博輝・本多昌平・宮嶋康次郎……………447(4)	Isolated hypoganglionosis における学童期以 降の Bishop-Koop 型結腸瘻造設により QOL 改善を得た 2 例 ……………高橋正貴・岡本眞宗・金森 豊……………519(5)
■小児外科疾患の QOL；最近の話題	中間位・高位鎖肛術後の QOL……………田村 亮 伊藤綾香・木戸美織・西田翔一 中村清邦・桑原 強・廣谷太一 安井良僚・河野美幸・岡島英明……………525(5)
QOL 維持を見据えた小児外科疾患症例の 発育評価一体組成分析の重要性一 ……………工藤 渉・照井慶太・武之内史子 小松秀吾・笈田 諭・川口雄之亮 西村雄宏・勝俣善夫・勝海大輔 佐永田友季子・古金遼也・菱木知郎……………461(5)	

排便機能障害児に対するアナライザー ションシステムの効果 ……………瓜田泰久・増本幸二…………531(5)	成人期に達した胆道閉鎖症術後自己肝生存 者……………大久保龍二 和田 基・佐々木英之・仁尾正記…………536(5)
先天性胆道拡張症術後の晩期合併症と QOL ……………前田拓也・内田広夫…………540(5)	先天性胆道拡張症術後脾内遺残胆管 ……………吉丸耕一郎・松浦俊治・高橋良彰 鳥井ケ原幸博・内田康幸・前田翔平 梶原啓資・白井 剛・田尻達郎…………545(5)
精巣捻転解除後に温存した精巣の萎縮に関 するリスク因子の検討 ……………鈴木啓介・関 千寿花・五嶋 翼 吉田美奈・中島優太・田中裕次郎…………550(5)	
■異物の診断と治療	
気道異物症例の検討 ……………中原康雄・吉井れの・向井 亘 高橋雄介・高田知佳・船橋功匡…………565(6)	
気道異物の臨床的検討……………小野 滋…………570(6)	
硬性気管支鏡による気道異物摘出術 ……………津川二郎・土居ゆみ…………573(6)	
気道異物の摘出の工夫 ……………大林樹真・古田繁行・堀江怜央 小森 学・坂本三樹・川口 敦…………578(6)	
消化管異物の検討……………大澤俊亮・渡井 有 佐藤英章・中山智理・田山 愛 木村翔大・富永美璃・安達 聖…………583(6)	
消化管異物の診断・治療のアルゴリズム ……………渡邊佳子・浮山越史…………588(6)	
当院における小児食道異物症例の検討 ……………石川順一・吉野智美・高間勇一 神山雅史・佐々木隆士…………593(6)	
X 線透過性食道異物の診断と治療 ……………中田千香子・文田貴志・加賀谷啓太 幸地克憲…………598(6)	
CT にて描出困難なプラスチック異物 ……………小野健太郎・嶋田 謙・池上謙次 増本幸二…………602(6)	
内視鏡下摘出を要した上部消化管異物 ……………盛島練人・望月響子・田中聡志 白根和樹・近藤享史・臼井秀仁 北河徳彦・新開真人…………606(6)	
長尺異物誤飲 ……………伊崎智子・皆尺寺悠史・千葉史子…………612(6)	

高吸水性樹脂素材製品誤飲による腸閉塞の 1 小児例……………縫 明大…………616(6)	ガストログラフィン® による高吸水性樹脂 玩具誤飲の手術回避 ……………西田ななこ・矢野圭輔・鶴野雄大 杉田光士郎・村上雅一・大西 峻 川野孝文・家入里志…………620(6)
磁石誤飲の治療成績と問題点 ……………河北一誠・武富紹信・北河徳彦…………627(6)	磁性玩具による消化管損傷……………松浦俊治 山口修輝・鳥井ケ原幸博・馬庭淳之介 高橋良彰・福田篤久・川久保尚徳 吉丸耕一郎・永田公二・田尻達郎…………633(6)
小児の異物誤飲—画鋏誤嚥に対するフード 装着内視鏡による摘出の工夫— ……………古賀義法・福田道隆・東館成希 向笠道太・川口 巧・加治 建…………638(6)	ダブルウーンドリトラクター法による毛髪 胃石の摘出……………坂野慎哉 薄井佳子・馬場勝尚・辻 由貴 藤原稔都・小野 滋・照井慶太…………642(6)
腔内異物……………阪 龍太・児玉 匡…………646(6)	
■女児生殖器・会陰部関連疾患のすべて	
新生児卵巣嚢胞……………高安 肇…………669(7)	卵巣腫瘍（胚細胞腫瘍） ……………米田光宏・廣川朋矢・一瀬諒紀 梅山知成・五嶋 翼・山本裕輝 小野賀巧・石丸哲也・下島直樹…………674(7)
卵巣腫瘍：性索間質性腫瘍……………橋詰直樹 本間公貴・松原詩歩・江藤寛仁 吉田寛樹・倉八朋弘・坂本早季 升井大介・古賀義法・加治 建…………679(7)	卵巣腫瘍（表層上皮性・間質性腫瘍） ……………西村雄宏・光永哲也・小松秀吾 笈田 諭・川口雄之亮・工藤 涉 菱木知郎…………684(7)
卵巣子宮内膜症（チョコレート嚢胞） ……………森 禎三郎・富田紘史・高田隆治 出口晴教・近藤 彩・広原和樹 日高綾乃・月崎絢乃・高橋信博 下高原昭廣…………688(7)	卵巣膿瘍……………鶴 知光・橋詰直樹・加治 建…………693(7)
多嚢胞性卵巣症候群 ……………岩佐 武・荒田萌花・野口拓樹…………696(7)	正常卵巣捻転……………関 千寿花・田中裕次郎…………699(7)

傍卵巣嚢腫	浅井芳江	
浅井 武・新居 章・愛甲崇人	704	(7)
卵管捻転・卵管水腫		
西谷友里・和田真穂・大林樹真		
田中邦英・藤川あつ子・古田繁行	708	(7)
卵巣滑脱型鼠径ヘルニア		
久山寿子・曹 英樹・吉田篤史	714	(7)
卵巣広汎性浮腫 (massive ovarian edema)		
杉山彰英・中村友紀・宮嶋康次郎		
安藤晋介・八木勇磨・田中 拡		
吉澤稜治・渡井 有	719	(7)
卵巣保存 (卵子保存・卵巣組織凍結)		
高江正道・鈴木 直	724	(7)
Mayer-Rokitansky-Küster-Hauser 症候群		
矢野圭輔・春松敏夫・杉田光士郎		
西田ななこ・鶴野雄大・大西 峻		
川野孝文・家入里志	729	(7)
OHVIRA (obstructed hemivagina and ipsilateral renal agenesis) 症候群		
今治玲助・渡邊日向子・谷 守通	733	(7)
人工子宮	齋藤昌利	738 (7)
尿道脱	矢内俊裕・益子貴行・東間未来	742 (7)
泌尿生殖洞遺残症	吉野 薫	745 (7)
陰原発腫瘍	狩野元宏	749 (7)
陰閉鎖	長谷川雄一	755 (7)
思春期前片側陰唇肥大		
幸地克憲・中田千香子・文田貴志		
加賀谷啓太・中澤匡男・矢部清晃	759	(7)
会陰部 fibroepithelial polyp		
金森 豊・石丸哲也	765	(7)
会陰部裂傷		
星 玲奈・上原秀一郎・渡邊揚介	768	(7)
陰唇癒合	黒田達夫・浮山越史	774 (7)
■小児外科疾患の発生を考える		
鰓弓異常症	三好直人・守本倫子	785 (8)
先天性気管狭窄, 喉頭閉鎖症		
辻 恵未・津川二郎・尾藤祐子	790	(8)
喉頭気管食道裂	福本弘二	798 (8)
先天性嚢胞性肺疾患	松岡健太郎	802 (8)
先天性横隔膜ヘルニア	照井慶太	807 (8)
先天性食道閉鎖症・狭窄症	瀧本康史	812 (8)
先天性十二指腸閉鎖症・狭窄症, 先天性小腸閉鎖症・狭窄症	牧田 智	
内田広夫・檜 顕成・城田千代栄		
田井中貴久・天野日出・小川雄大		
岡本眞宗・安井昭洋・高田瞬也		
林 海斗・中川洋一・加藤大幾		
石井宏樹・浅井 一・宇都宮有美		
村田結衣・郭 圭輝・劉 佳慧	819	(8)
腸回転異常症	伊勢一哉	824 (8)
卵黄腸管遺残・尿管管遺残		
渡邊佳子・浮山越史	828	(8)
発生生物学の視点から読み解く		
Hirschsprung 病の新たな病態像		
藤原なほ・宮野 剛	832	(8)
鎖肛・総排泄腔遺残	下島直樹・廣川朋矢	
一瀬諒紀・梅山知成・五嶋 翼		
山本裕輝・石丸哲也・米田光宏	836	(8)
総排泄腔外反	川滝元良	841 (8)
胆道閉鎖症	佐々木英之	846 (8)
脾・胆管合流異常 (先天性胆道拡張症) の発生を考える	福澤宏明	851 (8)
脾管癒合不全	神澤輝実・千葉和朗	
仲程 純・田畑宏樹・星 健介	858	(8)
先天性門脈欠損症・先天性門脈体循環短絡症	工藤豊一郎	864 (8)
腹壁破裂・臍帯ヘルニア		
永田公二・福田篤久・増田吉朗		
谷口直之・馬庭淳之介・高橋良彰		
川久保尚徳・吉丸耕一郎・宮田潤子		
松浦俊治・田尻達郎	869	(8)
鼠径ヘルニア・陰嚢水腫 (Nuck 水腫)・停留精巣	平林 健	874 (8)
神経芽腫	文野誠久・井口雅史・井上真帆	881 (8)
肝芽腫	渡邊健一郎	884 (8)
腎芽腫	山岡 敏・益子貴行	889 (8)
リンパ管奇形 (嚢胞状リンパ管奇形, リンパ管腫)		
藤野明浩・加藤源俊・山岸徳子		
出口晴教・佐藤壮泰・杉山祥基		
近藤 彩・熊谷知子・城崎浩司		
工藤裕実・狩野元宏・山田洋平	892	(8)

■医工・産学連携

医工・産学連携の歩み	渡井 有	
佐藤英章・中山智理・田山 愛		
大澤俊亮・木村翔大・富永美璃		
福永奈津・本多昌平・宮嶋康次郎		
八木勇磨・矢下博輝・田中 拡	905	(9)
医療機器承認制度と PMDA	穴原玲子	909 (9)
プログラム医療機器にまつわるアレコレ	加藤健太郎	914 (9)
臨床工学領域における医工連携の歴史と将来展望	大石義英	917 (9)
医工連携における知的財産法の利活用に関する一考察	佐々木通孝	922 (9)
看護と工学の融合が拓く次世代医療のかたち	椿 美智博・伊東由康	927 (9)
小児外科医と起業	林 健太郎	932 (9)
外科医の叡智を AI に宿す—手術支援 AI による Surgical Intelligence の可視化に向けて—	小林 直	940 (9)
AI による術中臓器損傷認識支援	松崎博貴	944 (9)
より安全な腹腔鏡下小児鼠径ヘルニア手術を目指して—手術器具の開発と臨床応用—	江村隆起・太田 寛	950 (9)
内視鏡手術トレーニングシミュレータ開発の変遷	福田篤久・川久保尚徳・吉丸耕一郎	
永田公二・松浦俊治・田尻達郎	955	(9)
胎児再生医療研究における医工連携	渡邊美穂	960 (9)
臓器灌流保存装置を用いた小児分割肝移植	石井大介・松野直徒・小原弘道	
武藤 聖・高島光央・横尾英樹		
宮城久之	964	(9)
鎖肛術後排便機能障害に対する新たな医療機器開発への挑戦	荒 桃子	
渡邊祐介・西澤祐吏・石田 稔		
芦崎浩二・渡邊雄大・坂村颯真		
奥村一慶・河原仁守・春松敏夫		
藤野明浩・家入里志・武富紹信	970	(9)
神経芽腫の悪性度層別化マーカーの開発	天野日出・林 善治・原田和治	
田栗正隆・檜 顕成・内田広夫	975	(9)
小児内視鏡外科手術用の細径多自由度持針器の開発	高澤慎也・石丸哲也	980 (9)

消化管神経叢の新規生体蛍光観察	小池勇樹・溝口 明・東 浩輝	
佐藤友紀・長野由佳・松下航平		
問山裕二	984	(9)
腹腔鏡下経皮的腹膜外閉鎖法 (LPEC 法) における新規医療器具の開発	小坂太郎	989 (9)
先端吸引鉗子の開発	櫻澤信行・萩原信敏・向後英樹	
鈴木幹人・小森啓正・吉田 寛	996	(9)
ガーゼ遺残を予防し触覚の欠如を支援する蛍光ガーゼの開発	田代良彦	
青木武士・安永秀計・安藤慎治	1000	(9)

■医療安全と事故・紛争対応への実際

医療安全

医療安全体制	辰巳陽一	1013 (10)
患者 (医療) 安全学カリキュラム	相馬孝博	1017 (10)
小児医療におけるインフォームド・コンセント	松村由美	1024 (10)
診療記録記載の課題	嶋崎明美	1028 (10)
患者の声と情報開示	城田千代栄	
檜 顕成・田井中貴久・内田広夫	1033	(10)
医療におけるヒューマンエラー	河野龍太郎	1037 (10)
臨床倫理コンサルテーション	竹下 啓	1045 (10)
死亡診断書記載の問題点	内ヶ崎西作	1050 (10)
死亡時画像診断 (Ai) の役割	山本正二	1056 (10)
事故対応	診療関連死の警察への届出	小島崇宏 1061 (10)
医療事故の判断と調査	田畑雅史	1065 (10)
エラー分析 (事故の原因・ファクターの分析)	石川雅彦	1070 (10)

紛争対応

カスタマーハラスメントと診療拒否	福田梨沙・墨岡 亮	1074 (10)
過失による医療事故と損害賠償責任	丸山英二	1081 (10)
医療事故における責任	中野雅文	1085 (10)
証拠保全と訴訟手続き	田邊 昇	1090 (10)
医療事故紛争の防止	大磯義一郎	1097 (10)

社会対応

社会への情報公開/記者会見	入田和男	1101 (10)
報道関係から見た情報開示	前村 聡	1105 (10)

■総排泄腔遺残症

発生学と分類	藤野明浩	1117 (11)
--------	------	-----------

総排泄腔遺残症—生涯的な治療戦略の組み立て	青山興司	
中原康雄・向井 亘・後藤隆文	1122	(11)
術前評価のポイント	長谷川雄一	1126 (11)
総排泄腔遺残症の至適手術時期	望月響子・西 盛宏	1130 (11)
術前管理	杉多良文	
春名晶子・高 亜羅・植松 陸	1134	(11)
総排泄腔遺残症の小児期の治療戦略と課題	荒井勇樹・木下義晶	1140 (11)
総排泄腔遺残症に対する一期的修復の術式	山内勝治・木村浩基・古形修平	
佐々木隆士・米倉竹夫	1145	(11)
思春期までの管理	矢内俊裕・東間未来・益子貴行	1151 (11)
思春期・青年期の諸問題	銭谷昌弘	
松尾規佐・松井 太・奈良啓悟	1156	(11)
総排泄腔遺残症—術後遠隔期の現状	中原康雄・向井 亘・後藤隆文	
青山興司	1160	(11)
患者の言葉で語る体験	宮田潤子	
福田篤久・日野祐子・近藤琢也		
川久保尚徳・永田公二・松浦俊治		
植木慎悟・濱田裕子・田尻達郎	1165	(11)
子宮卵管留血腫に対する治療	金 聖和・小野 滋	1170 (11)
移行期医療の観点からみたフォローアップ体制の構築	光明祐希	
中井優美子・大片祐一・宮内玄德		
梶原啓資・岩淵瀬怜奈・亀岡泰幸		
奈良 梓・出口雅士・尾藤祐子	1175	(11)
総排泄腔遺残症の術後遠隔期における問題と DSD センターの意義	加藤源俊・佐藤壮泰・熊谷知子	
杉山祥基・城崎浩司・山岸徳子		
工藤裕実・鈴木悠史・佐藤温子		
市橋洋輔・狩野元宏・木内謙一郎		
木須伊織・内田明花・山田洋平		
佐々木掌子・菊地俊暁・鳴海覚志		
浅沼 宏・藤野明浩	1179	(11)
産婦人科領域からみる移行期医療体制	磯邊明子・廣谷賢一郎・結城光太郎	
河村圭子・濱田律雄・田浦裕三子		
河村英彦・城戸 咲・加藤聖子	1183	(11)
移行期医療における腎・尿路管理	野口 満・東武昇平	1188 (11)

小腸グラフトを使用した内視鏡的腔形成術	加藤大幾・内田広夫・城田千代栄	
田井中貴久・牧田 智・小川雄大		
岡本真宗・滝本愛太郎・安井昭洋		
高田瞬也・林 海斗・中川洋一		
石井宏樹・浅井 一・太田和樹	1192	(11)
総排泄腔遺残症術後患者の性交・妊娠能と当科の成績	向井 亘	
中原康雄・後藤隆文・青山興司	1196	(11)
妊娠と分娩 (1) 総排泄腔遺残術後に 2 児を自然妊娠・出産した 1 例	桑原陽祐・中村慶乃・加藤幹也	
林 咲良・高田さくら子・上野洋誉		
碓井 愛・野村学史・黒岩征洋		
宮崎有美子・水本泰成・平吹信弥		
佐々木博正・大浜和憲	1201	(11)
妊娠と分娩 (2) 腔 flap を用いた rolled vaginoplasty 後に自然妊娠・出産に至った総排泄腔遺残症の 1 例	横田一樹・新美教弘・田中修一	
毛利純子・大島一夫・仲野 聡	1204	(11)

■停留精巣

『停留精巣診療ガイドライン第 2 版』	佐藤裕之	1221 (12)
定義と分類	世川 修	1226 (12)
疫学	田中征治	1229 (12)
健診時の諸問題	山田洋輔	1232 (12)
画像診断 (触知精巣・非触知精巣)	桐花悠介・佐藤雄一・迫 慶一	
平栗あかり・八木沼 恵・滝浪瑠璃子		
松岡香菜子・星 誠二・胡口智之		
秦 淳也・小川総一郎・小島祥敬	1236	(12)
遊走精巣と上昇精巣	矢内俊裕・益子貴行・東間未来	1240 (12)
異所性精巣	木下義晶	1246 (12)
消失精巣と nubbin	青木勝也・米倉竹夫	1249 (12)
停留精巣における微細石灰化	柿原 知・藤代 準	1253 (12)
停留精巣における精巣捻転：乳幼児期について	亀田恭介・濱田 洋・上村哲郎	1257 (12)
重症心身障害児(者)の停留精巣	西中一幸・上原央久	1261 (12)
停留精巣に対するホルモン検査・治療	水野健太郎・西尾英紀・林 祐太郎	1267 (12)

手術時期

……西尾英紀・水野健太郎・林 祐太郎……1272(12)

精巣摘除術……岡 真太郎・白石晃司……1277(12)

停留精巣固定術（鼠径部切開法）

……二階公貴・吉田志帆・宮野 剛……1281(12)

停留精巣固定術（陰囊切開法）

……高橋正幸・佐々木雄太郎・小林早紀

西山美月・古川順也……1286(12)

腹腔内精巣に対する一期的腹腔内精巣固定

術……松生健太郎・坂井宏平……1294(12)

腹腔鏡下停留精巣内精巣動静脈結紮術を用

いた精巣固定術（Fowler-Stephens 法）の

適応と問題点

……守屋仁彦・武藤竜也・日向泰樹……1299(12)

腹腔鏡下内精巣血管延長術（Shehata 法）

……益子貴行・矢内俊裕……1305(12)

妊娠性と悪性化……生野 猛

中村晶俊・橋本佳子・生野久美子……1309(12)

長期経過観察・不妊治療

……三井貴彦・志村寛史……1313(12)

【研 究】

小児外科医の Second Carrier—小児外科出身

開業医としての一考察——川口文夫……327(3)

【特別寄稿】

華岡青洲による鎖肛治療の由来について

……上野 滋……652(6)